

佐世保市立木風小学校

〒857-1166

佐世保市木風町180番地

校長 馬場 裕宣

児童数 215名（12学級）

（令和4年5月1日現在）



学校教育目標

『大きな夢を持ち、自ら学び、心身を鍛える子どもの育成』

『地域を愛し、みんなのために、すすんで行動する子どもの育成』

1 テーマ

『鍛える子 考える子 前進する子』の育成をめざして

～地域の「もの・ひと」「こと」を生かした教育活動の充実と学力向上～

2 目的

個に応じた学力向上への取り組みと、豊かな体験活動を生かした心の教育を通して学校教育目標の具現化を図るため

3 実践内容

（1）基礎学力の定着を目指した学力向上

① 校内研修における授業改善

- 職員は、新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」について研修に取り組み、授業研究部・学習支援部の2チームに分かれて、研究に取り組んできた。
- 2月には、2つのチームがそれぞれ実践報告を行い、研究してきた内容を共有した。また、授業公開や研究会等活動を創意工夫することで研修を深めた。

② 教育機器の活用による授業力の向上

○ 「教育機器の活用による授業力の向上」

今年度は、タブレットを全児童が活用する学習活動を意図的に取り入れてきた。情報の強靭化計画に伴って、機器等の整備が必要となったために、学校用にUSBメモリを購入した。職員にも、さらに情報の強靭化に対する意識が高まった。

また、画像を活用することも増えたため、デジタルカメラを購入し、学校行事や集



会等で活用することができた。

○「タブレット端末の効果的な活用」

タブレット端末を素早く活用するために、児童用机の中のを廊下に置くことが増えたために、整理用のかごを購入した。

自分の持ち物を整理することにつながり、素早く学習活動に取り組むことができるようになった。

③ 読書活動の充実

○ 全校で図書館の本を積極的に読む活動を行った。

昨年の1月末で全校での読書量は、19458冊だったが、今年度は、21987冊と2万冊を上回った。

昨年度に比べて児童数の減少や新型コロナウイルスによる学級閉鎖等を考えると、読書に親しんだ児童は変わらずいると言える状況である。環境整備のほか校長による表彰、100冊達成者の表彰、校長室前の全児童の貸出冊数の可視化等を行った。さらに読み聞かせボランティア（たんぼぼ）や環境整備ボランティア（みつばち）の協力もいただき、充実を図った。新型コロナウイルスによる学級閉鎖等もあったが、1月末の段階で、目標に近づく21,000冊に達し、3月中には目標であった22000冊も達成可能である。

(2) 地域の「もの」「人」「こと」を生かした教育活動の充実

① 地域のボランティアの方々との交流

○ 本校は、たくさんのボランティアの方々によって学校の活動が支えられている。安全ボランティアの方々には毎朝の集団登校に付き添っていただき、読み聞かせボランティア「たんぼぼ」の方々には毎月1～2回の読み聞かせをしていただいている。

地域のコロナ禍で毎日活動しておられる見守りボランティアの皆さんに日頃の感謝の気持ちを伝えるため、ハートのメッセージカードに思いを書き、ボランティアの方々に手渡す交流活動をした。



② 5年自然体験学習（10月）

○ 世知原少年自然の家での1泊の宿泊体験学習を機会として、班活動や挨拶・進行等が自主的にできるよう、事前と学習を深めた。

本番の宿泊体験学習では、沢登り等の各種の行事や食事、つどい、部屋での生活等の行動にその成果が表れた。学校の代表としての行動では反省すべき点もあり、事後に振り返りを行い、次年度への課題とした。



③ 3・4年木風小フェスティバル（11月）

○ 地域の方を招いての音楽会を実施した。地域の方のコーラス、3、4年生による合唱、合奏そして、保護者とのふれあい活動を行った。



④ 1・2年「ふれあい遠足」（11月）

- 烏帽子岳の青少年の天地を目的地として、実施した。途中からは山道で、急な上りや狭い道もあったが、全員が無事に行き帰りとも歩き通すことができた。青少年の天地では、1・2年生は、どんぐりや松ぼっくりなどを拾い集めた。

また、野外遊具上では、様々な遊具で遊んだりお弁当を食べたりして、楽しい時間を過ごすこともできた。



⑤ 4年「環境・福祉について考えよう」（1月）

- 4年生では、佐世保市エコプラザの協力をいただき、1月にエコドライブ授業を行った。また、疑似体験では、日常の生活では過ごしにくいことが多くあることに気づき、そのために自分たちにはできることは何か考えることもできた。

⑥ 6年赤ちゃんふれあい教室（6月、1月）

- 幼児教育センターの協力により、赤ちゃんふれあい教室を2回実施した。生命の尊さや親への感謝の気持ちを学ぶことができた。



⑦ 総合的な学習「SDGSの取組」（1月）

- 5年生の総合的な学習の時間では、SDGSの取組について、調べ学習を進めてきた。ハウステンボスと連携し、環境に配慮したまちづくりがどのように行われたか、実際に見学したり説明を聞いたりして理解を深めることができた。



⑧ 1～5年生「縦割り花植え」生活科・総合学習
（12月）

- 6年生に感謝の気持ちを送るために5年生以下の児童でパンジーの花植えを行った。5年生がリーダーとなって縦割り班に別れ、3月の卒業式に飾ることができるようにと全員が協力して植えることができた。在校生から6年生に心を込めた贈りものである。順調に育ち、卒業式にも色とりどりの花を添えることになる。

